

Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	国際教養学科				
科目名称	キャリア・デザイン				授業形態	演習			
科目コード	531623	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	柚木崎 千春							ICT活 用	
授業概要	<p>キャリアとは、それをデザインするとはどういうことなのか、すぐに理解することは簡単ではないと考えます。しかし、近く職業世界への扉が開かれるこのときに、「こんなことが出来たら、こんな暮らしをしながら人生をおくることが出来たらいいな」と、誰しも漠然と思うことはあるでしょう。その思いを考えに深化させ、自らの進路や将来計画を立案します。社会の中で自分の役割を果たしながら、自分の能力を最大限に発揮し「自分らしい生き方」を実現するためには、何をすべきか明確にすることが必要と考えます。そのキャリア形成のプロセスを学習します。自己分析や各種の職業人・社会人にインタビューをするなど他者との意見交換の機会を多く採り入れた演習授業であり、学期末には、学修したことをレポートにまとめ提出を課します。</p>								
関連する科目	キャリア入門、キャリア開発実習、キャリアビジネス論								
授業の進め方 と方法	<p>本授業は、主に講義形式で実施するが、一部の回では受講者をグループ分けし、グループディスカッションや課題発表も実施する。これにより、受講生が主体的に学べるようにする。 各回の授業ごとに、講義の目的・目標の把握を示してから授業を進める。</p>								
授業計画 【第1回】	<p>オリエンテーション（授業の進め方、評価方法、課題・レポートについて） 事前・事後学修：※1. その他（授業時間外の学習）参照 授業No. 2～15迄同様</p>								
授業計画 【第2回】	<p>キャリアデザインの考え方とキャリアデザインの必要性 事前・事後学修：※2. 課題に対しレポート提出（次回授業迄に提出）授業No. 2～14迄以下同様</p>								
授業計画 【第3回】	自己分析①：「過去・現在の掘り起し」過去の体験を振り返り現在の自分を知る								
授業計画 【第4回】	自己分析②：交流分析（エゴグラム）で自分を客観的に知る								
授業計画 【第5回】	自己分析③：自分の「価値観」について								
授業計画 【第6回】	就職活動とは何か：自己分析と企業が求める人材とのマッチング								
授業計画 【第7回】	社会人基礎力①：企業が新入社員に求めている社会人基礎力は何か								
授業計画 【第8回】	社会人基礎力②：自分の強みを知る								
授業計画 【第9回】	働くことについて：働くとは、仕事とは								
授業計画 【第10回】	自己の目標とキャリアデザインとの関係								
授業計画 【第11回】	ゲストスピーカー講話：キャリアデザインと仕事について								
授業計画 【第12回】	グループディスカッション：新聞記事から社会問題を考える								
授業計画 【第13回】	キャリアデザインとケーススタディ：職業人へのインタビュー調査								
授業計画 【第14回】	目標と行動計画：夏休みのキャリアプラン作成								

授業計画 【第15回】	まとめ：グループ発表□ 事前・事後学修：成果レポートを指定日迄に提出
授業の到達目標	① 社会変化などにより「キャリア・デザイン」が重要になっていることを理解する。 ② 自己理解を深め、自分の生き方を考えられる。 ③ 自ら考え、行動し、働くことの心構えを確立する。 ④ 授業終了時には、学修成果として自己理解と自己評価ができる。
学修成果との関連	1. 自ら考える能力を有する。／3. 現代社会に関する基本的知識を有する。
授業時間外学習【予習】	【予習】 毎回の授業で予告されるテーマや課題について、新聞等で関連する情報を収集すること。授業で学習したことを復習し、応用・考察することが次回授業の準備に繋がるので、授業ごとにレポートの提出を課す。課題にかける時間を確保すること。 レポート作成にかかる時間は個人差があると考えられるため（2時間程度を想定）、特に第13回の授業内容はボリュームがあるので、課題提出期限の厳守と受講生の能動的取り組みに期待する。
授業時間外学習【復習】	【復習】 授業で学習したことを復習し応用・考察することが次回授業の準備に繋がるので、授業ごとにレポートの提出を課す。課題にかける時間を確保して欲しい。レポート作成にかかる時間は個人差があると考えられるため（2時間程度を想定）、特に第13回の授業内容はボリュームがあるので、課題提出期限の厳守と受講生の能動的取り組みに期待する。
課題に対するフィードバック	提出されたレポートから受講生の考えを知り、全体で情報を共有する。 毎回のレポートを基に学生自らが到達目標達成度評価表を作成することにより、学修成果と将来に向けての課題が明確になる。
評価方法・基準	課題提出（30点） 授業への取り組み（15点） プレゼンテーション（15点） ※学期末学修成果レポート（40点） 一般財団法人全国大学実務教育協会の到達目標達成度評価表（ルーブリック）の提出
テキスト	テキストは特に指定せず、必要に応じてプリントを配付する。
参考書	『実践キャリア考』編修：一般社団法人 全国大学実務教育協会他 授業中に適宜紹介する。
備考	・2年次後期開講予定の「キャリアヒューズ入門」の履修を希望する学生は、本授業において一定の成績を修得していることを条件とする。詳細は初回授業時に説明する。 ・企業において実務経験を有する教員が本授業を担当する。 ・外部講師の都合により授業計画の順番を変更する可能性がある。